

Elazzio

SEAT COVER



TOYOTA
COROLLA
COROLLA TOURING

専用シートカバー取付説明書

1240/1241/1242/1243/1244/1245
1246/1247/1248/1249/1250/1251

Clazzio

SEAT COVER

このたびは「Clazzio シートカバー」をお買い上げいただき、
誠にありがとうございます。

本説明書にはシートカバーの取付け方法・取り扱い・返品などに関する
注意事項が記載されておりますので、装着前に必ずお読みください。

※ 本説明書中の掲載写真はサンプル品を使用しているため実際の製品やデザインと異なります。

INDEX

…> 03-04

シートカバー装着前の注意事項

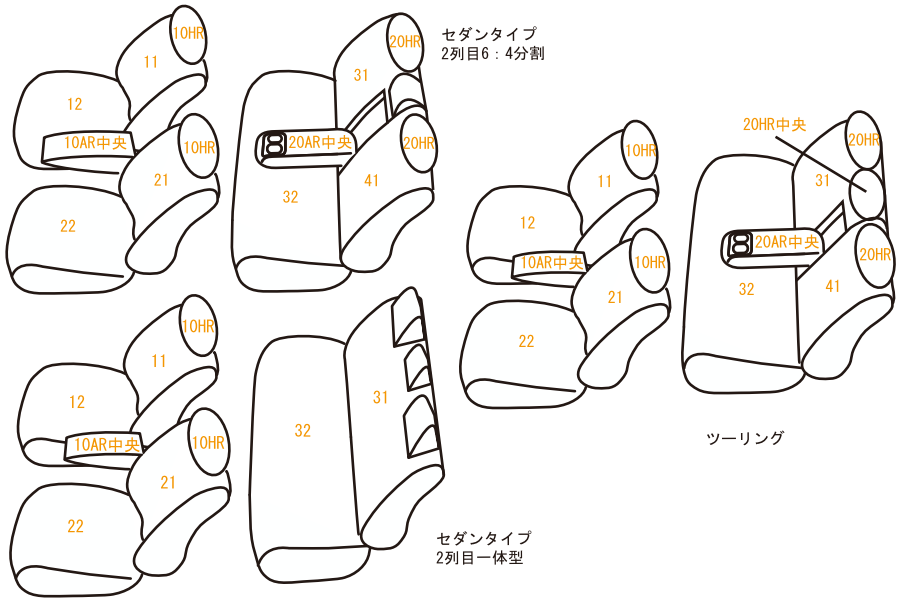
…> 05-32

シートカバーの装着方法

…> 33-34

アフターサービスと生地別メンテナンス方法

本製品シート形状とパーツの名称



取付必要工具



- ① ソケットレンチ(ソケット：12mm)※ソケットレンチはセダンタイプの2列目一体型のみ使用する
- ② プラスドライバー(No. 2/No. 3)※No. 3はセダンタイプの2列目6：4分割のみ使用する
- ③ 両面テープ(薄いタイプ)※無くても可。1列目アームレストカバーの装着の際、必要に応じて使用する
- ④ クラッチフォーク専用ヘラ(付属)

この車種は上記の工具を使用します

シートカバー装着前に必ずお読みください

- 本製品が届きましたらシートカバーを装着される前に内容物を確認の上、必ずお客様のお車に仮合わせ（シートに装着せずに）して、お客様のシートパターンに合うことをご確認ください。シートカバーの各部品がどの位置かが分かるように、番号の入ったタグが商品の裏側に付いています。仮合わせの時点で、製品に何らかの支障があった場合は、お買い上げいただいた販売店、または当社までご連絡ください。
事前に連絡が無く装着された後での、製品の返品・交換等につきましてはお受け出来ません。また、お客様の注文間違いによる製品の返品・交換等は、商品到着後1週間以内とさせていただきますので予めご了承ください。
- 本製品は梱包時にシワが入る場合があります。ある程度は正常に取り付けを行っていただくことで、生地が伸びシワは解消できますが、まれに跡が残る場合がありますので予めご了承ください。どうしてもシワが気になる場合は、装着前にお買い上げいただいた販売店、または当社までご連絡ください。
- 本製品は純正シートの機能（チャイルドシート固定フックやバックテーブル等）を損なわないように設計しております。その為、背もたれや座面に穴開け加工をしているタイプのシートカバーがありません。
- 万が一ご注文された商品と違う、不良品、配送中の破損等ございましたらご連絡ください。速やかに商品を交換もしくは修理対応させていただきます。
※交換対応商品が在庫切れの場合は多少お時間をいただく場合がありますので、予めご了承ください。
- 箱の多少の破損、商品の細かい傷、シワ等は不具合対象外とさせていただきます。また装着後の商品は仕様違い及び初期不良を除き、返品・交換等致しませんので装着前に必ず確認等してください。また、装着時に加工等された商品に関しましても返品・交換等は致しませんので予めご了承ください。
- 座席への密着度が非常に高い設計となっている為、シートカバーの使用期間中に座席にダメージを与える場合があります。この点をご理解の上、ご使用ください。
なお、シートカバー装着に起因するダメージに対する補償は致しませんので、予めご了承ください。
例) 座席に生じた傷、破れ、摩擦、シワ、ヘコミ、変形、変色、化学変化等

⚠ 警告 サイドエアバッグについて

- 本製品は1列目背もたれの両横部分とSRSサイドエアバッグ開閉部分に、SRSサイドエアバッグ対応用の縫製系を使用しています。（SRSサイドエアバッグの有無に関わらず全製品）その部分は他の部位に比べて縫製系が切れやすくなっています。装着時には過度の力がかからないようにご注意ください。またシートカバーを正しく取り付け出来ていないと、衝突時などにサイドエアバッグが正常に作動せず、重大な傷害を負うか、最悪の場合死亡につながる恐れがあり危険です。
※サイドエアバッグの対応基準は、正式な安全基準が無いため（※2019年8月現在）自社独自の対応規格となります。

本製品に関する注意事項

- 本革やジーンズ等の染料を使用している素材や、新聞紙等の印刷物を長時間接触させると、本製品に色移りや本革等に粘着が生じることがあります。また衣類製品側にも色移りが生じる場合があります。
- 本製品を直射日光に長時間あてられると、生地の表面が変化・変形・変色の原因となります。また、高温・多湿のところに放置されると硬化や収縮、カビが発生することがあります。
- 本製品は石油を原材料として使用しているため、臭いがきつく残る場合があります。装着されてから約1~2週間で臭いは緩和されますが、気になる場合は本製品を換気の良い所に1週間程保管されてから装着してください。また本製品は塩化ビニールレザーを使用しています。燃焼時には塩化水素が発生します。廃棄される場合は個人で焼却せずに必ず各自治体の処理方法に従ってください。

シートカバー装着時の注意事項

- 当社のシートカバーはフィッティングを重視して設計しています。カバー全体に均一に力をかけるようにして、装着してください。またシートカバーを固定するパーツは強く引っ張りすぎると抜けたり切れる恐れがありますので、ご注意ください。
- シートカバーの背もたれ上部に加工しているヘッドレストの穴は、生地の種類によっては伸びにくいものもあるため、無理に入れ込もうとすると破れる恐れがあります。
- 取付説明書の順番通りにシートカバーを装着していただくと、作業がスムーズに進みますので、当社では順番通りの装着をお勧めしています。またシートカバーの装着は明るく、地面が平らなスペースで行ってください。装着時に長時間車内のライト類を点灯状態（扉を開放されたまま等）にされるとバッテリーがあがったり弱まる原因となります。
- 製品の改良等により、本取付説明書の記載内容と一部製品の仕様が異なる場合があります。その際はご迷惑をおかけしますが当社までお問い合わせください。
- 当社のシートカバーは純正シートの機能を損なわないように設計していますが、シートカバーを装着することにより、シートにカバーの厚みが増す、カバー同士の摩擦が生じる等の原因で、シートの正常な動作を妨げる場合があります。
- 取り付け時（シート本体のパーツを取り外す場合等）及び、使用時におきた車輛への損傷、車輛の不具合、人体への怪我（シートカバー装着時に、シート本体の金属部分やプラスチック部分に接触する等して怪我をする恐れがあります）について、当社では一切責任を負えませんので、十分に安全に注意し、取り付けを行ってください。

またいかなる場合でも商品代金、送料を保証の上限とし、それ以外の保証は出来ませんので、予めご了承ください。購入に付随する、商品の交換取り付け、取り付け取り外し等の工賃、取り付け等の不具合による工賃等の費用負担、交通費、遺失利益などの直接、間接の損害につきましても一切の責任を負わないものとします。

「快適カーライフ空間創造企業」



株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

TEL 072-330-8000

Step 1

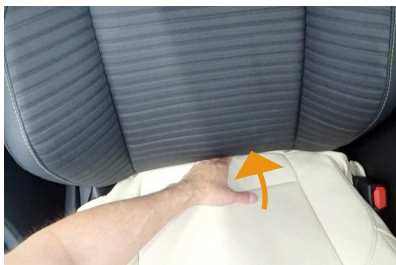
…> 1列目座面の装着方法

1列目の装着方法は、主にダブルハイグレード（2019年12月現在）のスポーティシートを元に作成しています。

その他のグレードは、一部シート形状が異なりますが、同様の固定方法で取り付けを行って下さい。



- 1 背もたれ背面からシート裏に固定されている生地を外します。生地はシート裏のフックにゴムを引っ掛けて固定されています。ゴムの固定をほどき、生地を外します。



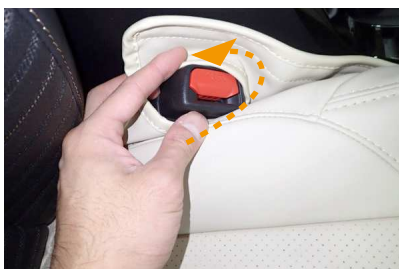
- 4 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。こちらは隙間が狭くなっています。シートを後ろ側に倒した状態で生地をできるだけ入れ込み、その状態でシートを起こすと生地が入り込みやすくなります。



- 2 シートのラインに合わせて、カバーを前から後ろへかぶせます。



- 5 入れ込んだ生地を、シートの背面から引き出します。
図のように配線がある場合は、配線部分に注意して生地を引き出して下さい。
※G-Xグレード（2019年12月現在）のシートカバーでは外側のみ配線をかわす仕様になっています。



- 3 カバーの加工穴にシートベルトのバックルを通します。
※G-Xグレード（2019年12月現在）のシートカバーではこの作業はありません。生地をシートベルトバックルの内側に入れ込むようになります。



- 6 シートの外側です。シートとプラスチック部の隙間に、端に固定部材の付いた生地を入れ込みます。



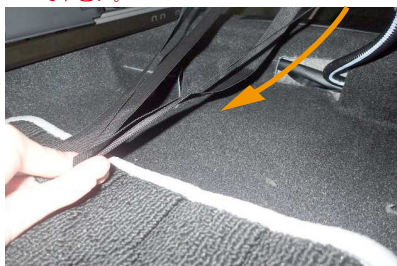
- 7 シート外側の付け根辺りは、隙間が大変狭くなっています。ヘラなどを使用してプラスチックパーツの内側に沿わせるようにして、生地を入れ込みます。



- 10 ベルトをシートの裏から背面側へ通します。
※この際、シートの裏にはあらゆるパーツがあります。ベルトがシート裏に引っ掛からないようにかわしながら、できる限りそれらのパーツの上にベルトを通すようにして下さい。



- 8 シート内側のカバーは、シートに沿わせるようにして生地を入れ込みます。入れ込んだ生地の端にはマジックテープが付いています。マジックテープを直接シートに貼り付けて固定します。マジックテープには保護テープが付いている場合があります。その場合は、固定する前に保護テープを外して下さい。



- 11 シートの背面からベルトを引き出します。



- 9 カバーの前側に付いているベルトを、スライドレバーの上側に通します。



- 12 5ページ5番で引き出した生地に付いているバックルに、引き出したベルトを通します。
※7ページ13番でベルトの固定方法を説明しています。両端のベルトは出来るだけ端に寄せて固定するようにして下さい。中央に寄っていると表面のカバーにシワがよることがあります。



- 13 ベルトは①～③の順番でバックルに通します。まずバックルの中央にベルトを通して折り返します。次につまみ側の端を通して引くとカバーの前後が絞り込まれ固定されます。ベルトは強く引きすぎると生地が破れたり、切れたりするのでご注意ください。



- 14 カバーのラインを整えて、1列目運転席座面の完成です。助手席も一部形状は異なりますが、同様に取り付けます。

Step 2

…> 1列目背もたれの装着方法

1列目の装着方法は、主にダブルパイプグレード（2019年12月現在）のスポーティシートを元で作成しています。

その他のグレードは、一部シート形状が異なりますが、同様の固定方法で取り付けを行って下さい。



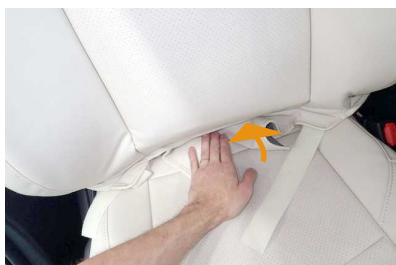
- 1 カバー背面のファスナーを開けた状態にして、シートのラインに合わせて、カバーをシート全体にかぶせます。



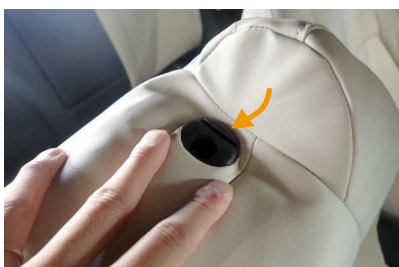
- 4 生地伸びを利用して、台座を取り出します。



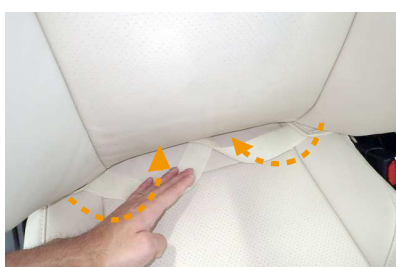
- 2 5ページ1番でシートの裏から外した生地をめぐり上げて、カバーの内側へ入れ込みます。



- 5 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。



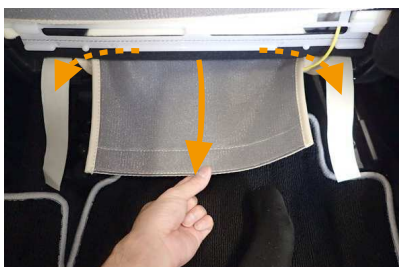
- 3 ヘッドレストの台座を取り出します。まず片側の台座のフチに、生地をしっかりと入れ込みます。



- 6 カバーの両端に付いているマジックテープはシートの端からでは隙間が非常に狭いためシートの中央に寄せて入れ込みます。この後のシートの背面から引き出す際に、マジックテープがねじれないように注意して下さい。

8P ▶

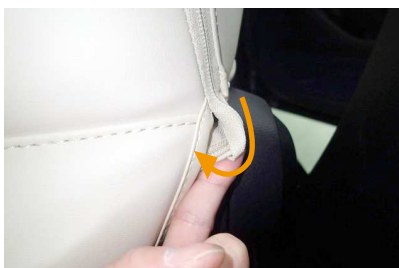
※この作業はG-Xグレード（2019年12月現在）のシートカバーにはありません。



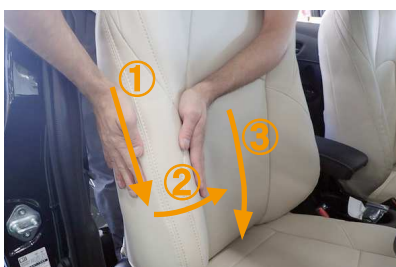
7 入れ込んだ生地・マジックテープをシート
の背面から引き出します。
8ページ6番で入れ込んだ両端のマジック
テープは中央部分から少し引き出して、図
のように端にスライドさせるように寄せま
す。配線がある場合、マジックテープは配
線の外側に来るようにかわして下さい。



8 側面のファスナーを生地を内へ寄せながら
慎重に閉じます。



9 ファスナーの端は折り返してカバーの中へ
入れ込みます。



10 ①～③の順番に、カバー側面の生地を引き
下げながら中央へ寄せて、中央で余った生
地を下へ撫で下ろします。シートの下に余
った生地を7番と同様にシート裏から引き
出して、生地をシートに密着させていきま
す。カバー側面のシワが無くなるまで繰り
返し行って下さい。



11 7番で引き出した生地・マジックテープを
カバー背面のポケット下の裏側に付いてい
るマジックテープと固定します。



12 カバーの背面下にゴムが付いています。ゴ
ムに付属の金属フックを図のように取り付
けます。



- 13 金属フックを純正シートのゴムを引っ掛けていたシート裏のフック部分に引っ掛けて固定します。



- 14 カバーのラインを整えて、1列目運転席背もたれの完成です。助手席も同様に取り付けます。

Step 3

…> 2列目座面の装着方法

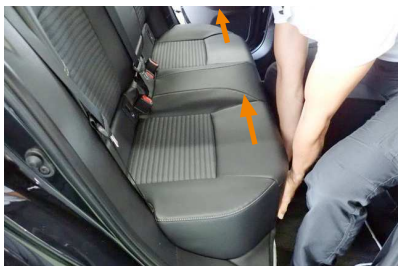
2列目座面の装着説明は、ガソリン車を元に作成しています。
ハイブリッド車は、一部シート形状が異なりますが、同様の固定方法で取り付けを行って下さい。



- 1 3点式中央シートベルトの固定を外します。ベルトを引っ張り中央のシートベルトバックルをシートの表に出せるだけ出します。バックルの丸印の位置を先端が細いもので押すと、シートベルトの固定が外れます。



- 4 シートの固定が外れたら、作業のしやすい場所へ運び出します。この際、車体に傷を付けたりしないように、慎重に作業を行って下さい。



- 2 シートの前側は図の矢印位置の裏側にある2カ所のフックで固定されています。シート裏のフックのすぐ横に手を添えて、片側ずつ真上に持ち上げるとフックが外れます。



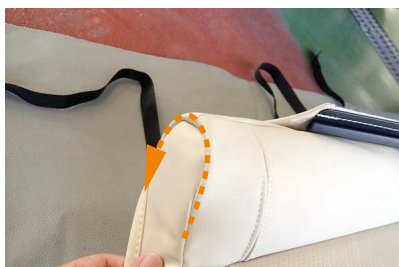
- 5 チャイルドシート固定用フックの位置に付いているプラスチックカバーのフタを、図のように外します。運転席側・助手席側共に合計4カ所外します。
※外したプラスチックカバーはシートカバーを装着後、元に戻しません。無くされないように保管して下さい。



- 3 フックを外してシートを手前に引くとシートが車体から外れます。
2番の作業で前のフックが外れてもシートがまだ車体に引っ掛かっている場合は、図の矢印裏のフックが掛かった状態になっています。こちらは図の矢印位置辺りを上から押しながらシートを手前に引くとフックが外れます。



- 6 シートカバーの装着を行います。カバーの裏側に4本のベルトが付いています。4本のベルトをそれぞれ5番でプラスチックカバーを外したチャイルドシート固定用の穴に通して、シートの裏から引き出します。



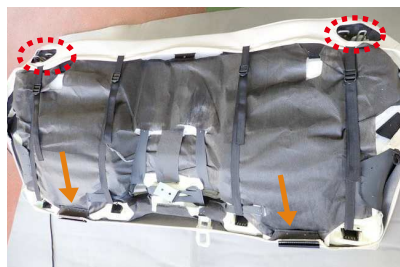
- 7 シートの付け根部分に生地を馴染ませるようにしてカバーをかぶせます。



- 8 シート付け根のフック部分にカバーの加工穴を通します。



- 9 シートのラインに合わせてカバーをシート全体にかぶせます。



- 10 シートを裏返してカバー前後のベルト4本を固定します。ベルトを固定することでカバーの前後が固定されると共に、シートの付け根部分の段差がはっきりと出るようになります。
赤丸はフックの位置です。フックにカバーの加工穴を通して下さい。
※ハイブリッド車の場合、加工穴は切り込みのみですので、図のように大きな穴にはなりません。
※図の矢印は13ページ13番の作業の目印になっています。



- 11 カバーの側面から出ているヒモの片側で、図のように輪を作ります。



- 12 作った輪にもう片側のヒモを通します。通したヒモを引き、カバーの下周りを絞り込み結び留めます。



- 13 12ページ10番の矢印位置に固定しているシート表皮を、シートの固定から外します。シート表皮はブラックでシート裏の隙間に差し込み固定してあります。ブラックを抜き出して固定を外します。



- 16 シートを表側に戻してカバーのラインを整えます。
※シートは背もたれカバーを装着後、車体に戻します。



- 14 シート表皮を固定していたブラックの先端に、カバーに付いているブラックを図のように引っ掛けて固定します。



- 17 背もたれカバーを装着後シートを元に戻します。
シートの付け根にあるコの字のフックを固定する突起部分が、車体の背もたれ下中央の助手席側辺りにあります。



- 15 シート表皮を元通りにシート裏へ固定します。シート表皮を固定することによりカバーも一緒に固定されます。



- 18 17番の突起の位置にコの字のフックが引っかかるように意識してシートを戻していきます。



- 19 シートの裏からシートベルトバックルを、バックル収納部の穴位置に合わせて入れ込みます。



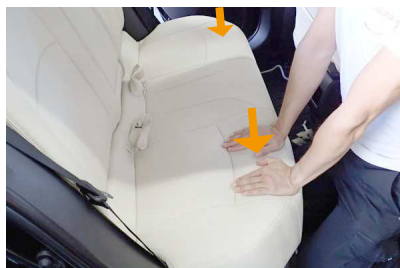
- 22 シートベルトバックルが出ているシートのフチに生地を入れ込みます。



- 20 シートの表からシートベルトバックルが出てきていることを確認します。



- 23 シートベルトバックルは図のようになります。運転席側は1ページ1番で外した中央のシートベルトを、バックルに固定して下さい。



- 21 シート裏のフックの位置に合わせて、シートを真上から押し込みます。フックをはめ込み車体にシートを固定します。

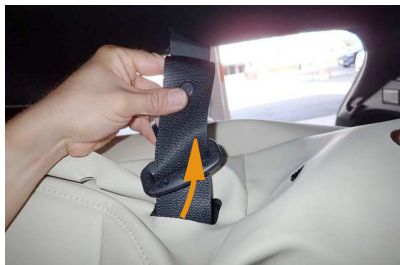


- 24 カバーのラインを整えて、2列目座面の完成です。ハイブリッド車は一部シートの形状が異なりますが、同様の固定方法で取り付けます。

Step4

ツーリング 2列目背もたれ・アームレストの装着方法

セダントップの6：4分割の背もたれは20～24ページ、セダントップの一体型背もたれは25～27ページを確認して下さい。



- 1 中央のシートベルトをカバーの加工穴に通します。



- 4 ヘッドレストの台座を取り出します。



- 2 アームレストを斜めに倒して、カバーの加工穴に通します。



- 5 リクライニングレバーのフチに、ヘラなどを使用して生地を入れ込みます。生地を入れ込んでいる際に、プラスチックパーツのツメが外れてくる場合があるので作業は慎重に行ってください。ツメが外れた場合は上から押し込めば固定されます。



- 3 カバーをシートのラインに合わせて、シート全体にかぶせます。



- 6 リクライニングレバー部分は図のように収まります。



7 中央シートベルトのフチに、ヘラなどを使用して生地を入れ込みます。



10 シートの下から生地を入れ込みます。



8 中央のシートベルト部分は図のように収まります。



11 シートを前に倒して、入れ込んだ生地を引き出します。
この際シートの背面にはワイヤーが通っています。そのワイヤーをかわしながら生地を引き出して下さい。



9 カバー内側にあるファスナーを、生地を内へ寄せながら慎重に閉じます。



12 引き出した生地とカバー背面下の生地を、マジックテープで固定します。



- 13 アームレストの下から生地を入れ込みます。生地が入り込みづらい場合は、入れ込もうとしている手を添えたまま、アームレストを倒す→起こすと繰り返すことで生地が徐々に入り込んでいきます。



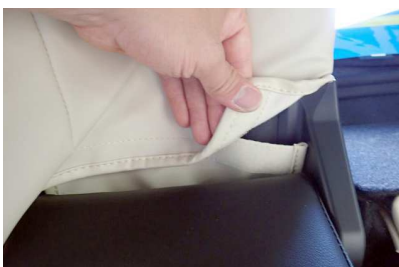
- 16 アームレスト付け根のプラスチックパーツのフチに、周りの生地を入れ込みます。



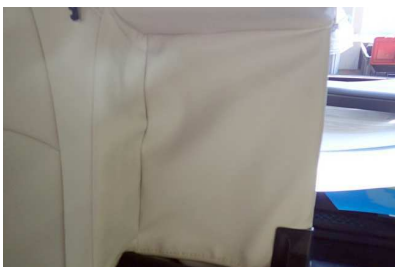
- 14 アームレストを倒して生地を引き出します。



- 17 カバー側面の生地もプラスチックパーツのフチに入れ込みます。



- 15 引き出した生地とアームレスト収納部下側の生地をマジックテープで固定します。



- 18 アームレスト収納部の生地は、カバーを装着してすぐには、浮きやたるみが出ます。こちらはアームレストカバーを装着後、アームレストをシートに収めた状態にしておくことで、装着直後の浮きやたるみを緩和することができます。



- 19 カバーのラインを整えて、2列目運転席側背もたれの完成です。助手席側も形状は異なりますが、同様の固定方法で取り付けます。
※背もたれカバー装着後、座面を車体に戻して下さい。



- 20 アームレストにカバーの装着を行います。カバーの入り口を図のように裏返して、アームレストの先端までしっかりとかぶせます。



- 21 アームレストのラインからずれないようにカバーを全体にかぶせます。



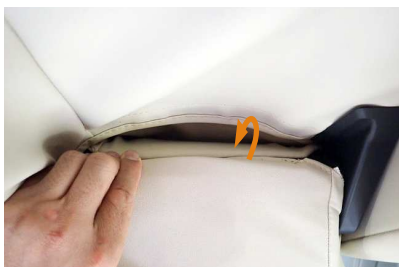
- 22 アームレストの下から先端にフックの付いた生地を入れ込みます。生地が入り込みづらい場合は、入れ込もうとしている手を添えたままアームレストを倒す→起こすと繰り返すことで生地が徐々に入り込んでいきます。



- 23 アームレストを倒して端にブラフックの付いた生地を引き出します。



- 24 助手席側の隣になるアームレストの付け根部分は表面側に生地が反り返ることがあるので、内側までしっかりと巻き込みます。



25 アームレストを倒してアームレストの付け根部分でブラックを固定します。



28 ドリンクホルダーのフチにヘラなどを使用して生地を入れ込みます。



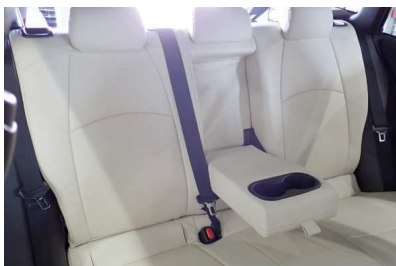
26 ブラックの固定方法は、かぎ状のフックに平らな方のプラスチックを生地と一緒に折り返して、はめ込み固定します。



29 カバーのラインを整えて、2列目アームレストの完成です。



27 ブラックを固定するとアームレストの付け根部分は図のようになります。



30 2列目背もたれ・アームレストの完成です。

Step 4

セダントタイプ 2列目6：4分割背もたれの装着方法

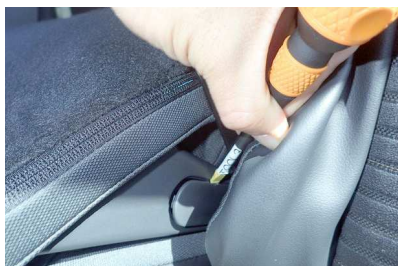
セダントタイプの2列目一体型背もたれは、25～27ページを確認して下さい。



- 1 中央のシートベルトをシートのガイドから抜き出します。



- 2 シートベルトのガイド、リクライニングボタンの周りの枠になっているプラスチックパーツをシートから外します。
図の丸印で囲っているネジ2本を、ドライバーを使用して外します。



- 3 アームレストをシートから外します。
運転席側のシートを前に倒してアームレスト付け根のキャップを外します。
キャップは先端が細いものを隙間に差し込み外します。図ではマイナスドライバーの先にマスキングテープを巻いて使用しています。プラスチック部分は傷が付きやすいので作業は慎重に行ってください。
キャップを外すと奥にネジがあります。
※工具は先端が細いもので代用できます。



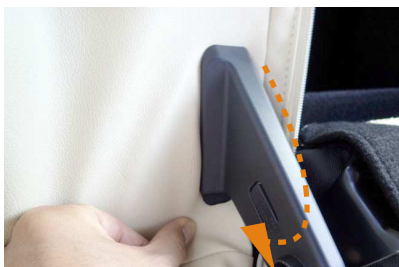
- 4 3番のネジを外します。こちらのネジは、プラスドライバーのJIS規格、No.3のサイズのドライバーが一番通っています。ドライバーを使用してネジを外します。この際助手席のシートが邪魔になりますが、助手席のシートを図のように潰しながら、ネジに対してドライバーを真っ直ぐに当てて作業を行うようにして下さい。斜めに差し込むとネジ穴が潰れる恐れがあります。



- 5 アームレストはネジが外れても簡単には外れません。図のように軸部分を助手席側に振るように動かしながら外して下さい。



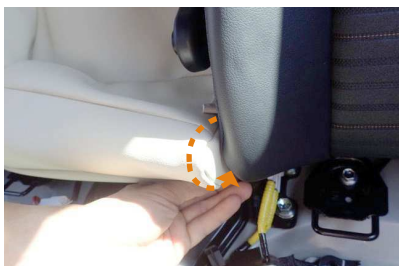
- 6 シートのラインに合わせてカバーをかぶせます。



- 7 アームレストの軸部分にカバーの加工穴を通します。



- 10 こちらは助手席側のシートです。助手席側はヘッドレストの台座とリクライニングボタン部分を一緒に取り出します。



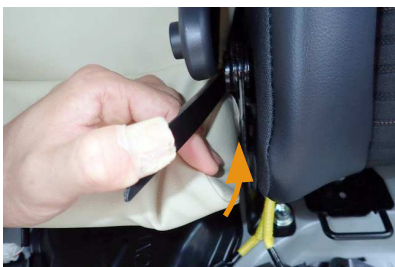
- 8 アームレスト収納部の下側の生地をシートの形状に沿って馴染ませます。



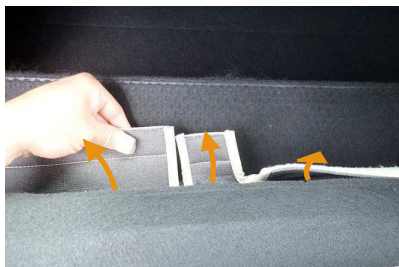
- 11 カバー下側の生地を背面側へ入れ込みます。



- 9 ヘッドレストの台座を取り出します。



- 12 シート内側の軸部分は、生地が金属のフレームに引っ掛かりやすくなっています。ヘラなどを使用して生地をしっかりと入れ込むようにして下さい。



- 13 21ページ11番で入れ込んだ生地をシート背面から引き出します。



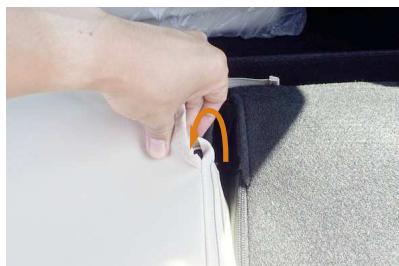
- 16 13番で引き出した生地とカバーの背面下をマジックテープで固定します。



- 14 カバー内側面に付いているファスナーを、生地を内へ寄せながら慎重に閉じます。



- 17 アームレストの軸部分にヘラなどを使用して、端に固定部材の付いた生地を入れ込みます。



- 15 ファスナーの端は折り返してカバーの内側へ入れ込みます。



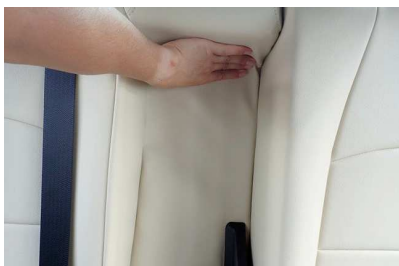
- 18 シートベルトのガイドが付いている部分を生地を挟み込み元に戻します。



- 19 カバーのラインを整えて、2列目運転席側背もたれの完成です。



- 22 アームレスト全体にカバーをかぶせます。



- 20 アームレスト収納部の生地は、カバーを装着してすぐには浮きやたるみが出ます。こちらはアームレストカバーを装着後、アームレストをシートに収めた状態にしておくことで、装着直後の浮きやたるみを緩和することができます。



- 23 アームレストの軸部分で生地を寄せ合いながらファスナーを閉じます。ファスナーの端はカバーの中へ入れ込みます。



- 21 アームレストにシートカバーを装着していきます。カバーの入り口を折り返して、アームレストのラインに合わせてカバーをかぶせます。アームレストの先端まで生地が張るようにしっかりとかぶせて下さい。



- 24 ドリンクホルダーのフチに、ヘラなどを使用して生地を入れ込みます。



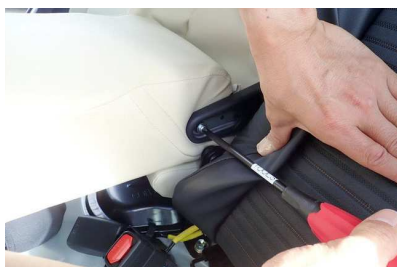
- 25 生地を全て入れ込むとドリンクホルダー部分は図のようになります。



- 28 アームレストがシートに収まれば、ネジを固定します。ネジを固定する穴には図のようなキャップが付いています。キャップが外れている場合は必ずネジを固定する前にネジ穴に差し込んで下さい。



- 26 アームレストをシートに戻します。アームレスト収納部にアームレストの軸が収まる穴があります。シートの穴位置と、カバーの加工穴の位置が合っていることを確認します。



- 29 アームレストの位置を調整しながらネジ穴を合わせます。ネジ穴を合わせてドライバーなどで固定します。



- 27 26番の穴位置に、アームレストの軸を差し込みます。もう片方のシートの軸部分と干渉して隙間が狭くなっています。入れ込む角度を調整して作業を行って下さい。



- 30 カバーのラインを整えて、2列目運転席側背もたれ・アームレストの完成です。助手席側背もたれも一部形状は異なりますが、同様の固定方法で取り付けます。

Step 4

セダンタイプ 2列目一体型背もたれの装着方法



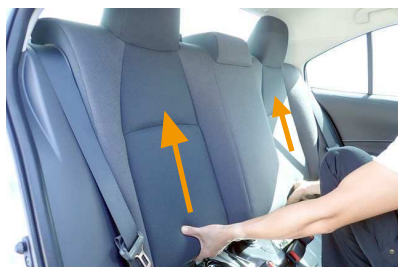
- 1 2列目一体型背もたれは、シートを車体から外してカバーの装着を行います。まず始めに、図の丸印の位置にあるボルトを外します。



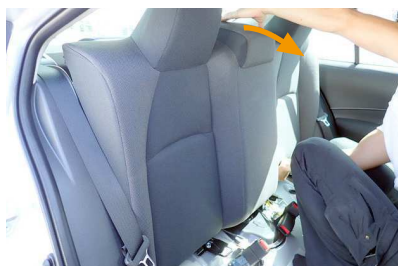
- 2 ソケットレンチなどを使用してボルトを外します。ソケットは12mmを使用します。



- 3 中央のシートベルトをシートベルトのガイドから抜き出します。



- 4 シートを図のように真上へスライドさせるように持ち上げます。



- 5 シートを持ち上げた状態をキープして、シートの先端を手前に引くとシート裏のフックが外れて、シートが車体から外れます。



- 6 シートを車外の作業を行いやすい位置へ運び出します。
この際、車体に傷を付けたりしないように慎重に作業を行って下さい。



- 7 シートベルトのガイドをプラスドライバーを使用して外します。



- 10 シートのラインに合わせて、カバーをシート全体にかぶせます。



- 8 カバーをかぶせていきます。始めに両端のヘッドレストに生地を馴染ませるようにカバーをかぶせて、ヘッドレストの先端まで生地が張るようにしっかりとかぶせて下さい。



- 11 シートを裏返します。



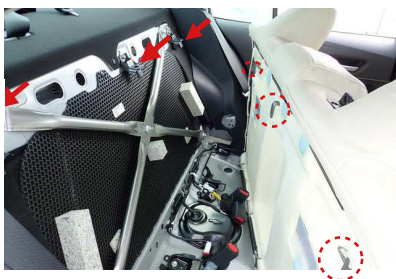
- 9 カバーをシート全体にかぶせます。シート下側の付け根部分に、生地を引っ掛けるようにかぶせます。



- 12 シート裏側のカバーには、前後左右ともフックが付いています。フックを純正シート表皮を固定しているフックの上から引っ掛けて固定します。



- 13 シート裏側のフックを全て固定すると図のようになります。



- 16 シートを車体に戻します。
シート裏の赤丸印の位置に3か所のフックと車体側の矢印印の位置に受けがあります。シートのフックの位置を意識して、受け側に上から引っ掛けるように固定します。



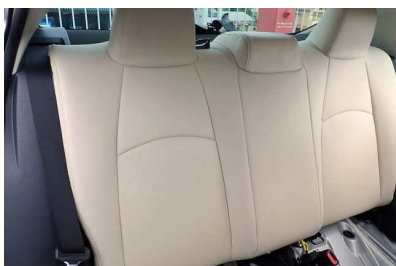
- 14 シートベルトガイドを元に戻します。カバーの加工穴とネジ穴の位置が合っているかを確認します。この際、カバーを装着することで、純正シート地がずれてネジ穴をふさいでしまう場合があります。その場合は生地をずらしてネジ穴がしっかりと見えるようにして下さい。



- 17 25ページ2番で外したボルトを元通りに固定します。



- 15 シートベルトのガイドを元に戻します。



- 18 カバーのラインを整えて、2列目背もたれの完成です。

Step 5

…> ヘッドレストの装着方法

1列目ヘッドレスト、セダンタイプの2列目背もたれ6：4分割の2列目ヘッドレストの装着説明は、フロントスポーティシートのヘッドレストを使用しています。



- 1 カバーの入り口部分を裏返して、ヘッドレストのラインに合わせてかぶせます。ヘッドレストの先端まで生地が張るようにしっかりとかぶせて下さい。カバーは平らなプラスチックが付いている方が前です。



- 2 ヘッドレストの下側にかけてカバーがきつくなります。ヘッドレストの角を指で押し込みながら慎重にかぶせていき、ヘッドレスト全体にカバーをかぶせます。



- 3 ヘッドレスト全体にカバーをかぶせたら、ヘッドレストをシートから外します。ヘッドレスト裏で生地を内へ寄せながらマジックテープを固定します。



- 4 ヘッドレスト裏でブラフックを固定します。



- 5 ブラフックの固定方法は、かぎ状のフックに平らな方のプラスチックを生地と一緒に折り返して、はめ込み固定します。



- 6 ヘッドレスト裏は図のようになります。



- 7 カバーのラインを整えて、1列目ヘッドレストの完成です。
 フロントスポーティシート以外のヘッドレスト・セダンタイプ、2列目背もたれ6：4分割の2列目ヘッドレストも、形状は異なりますが、同様の固定方法で取り付けます。



- 8 ツーリングの2列目ヘッドレストです。図の矢印方向に、ヘッドレストのラインに合わせて下から上へかぶせます。カバーは平らなプラスチックが付いている方が前です。



- 9 ヘッドレスト全体にカバーをかぶせます。



- 10 ヘッドレスト裏のカバーの点線部分にオスのマジックテープ、矢印の先にメスのマジックテープが付いています。メスのマジックテープを内へ寄せながらオスのマジックテープと固定します。



- 11 1列目ヘッドレストと同様にブラックを固定します。ヘッドレスト裏は図のようになります。



- 12 カバーのラインを整えて、2列目ヘッドレストの完成です。
 2列目中央のヘッドレストも形状は異なりますが、同様の固定方法で取り付けます。

Step 6

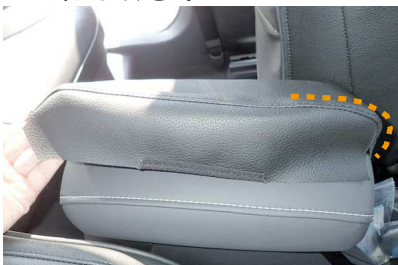
…> 1列目アームレストの装着方法

1列目アームレストのカバーはグレードにより質感の高い素材が使用されています。好みに応じてカバーの装着を行って下さい。

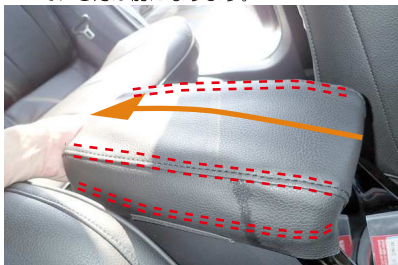
装着は非常に難易度の高いカバーになっています。作業は慎重に行ってください。



1 スライド機能がないアームレストは31ページ11番・12番を先に確認して下さい。アームレストを前側にスライドさせた状態でフタを開きます。フタの裏側にあるネジを3か所、ドライバーを使用して緩めます。※ネジは完全に外してしまうと装着中にフタの裏側のプラスチックパーツを変形させてしまう恐れがあるので、外さずに緩めるのみにして下さい。



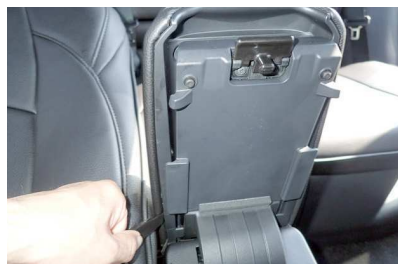
2 カバーの前後を確かめます。先端をしっかりと包み込むような形状になっている方が前になります。



3 カバーをアームレストにかぶせます。アームレストの先端にカバーを引っ掛けるようにかぶせて、そこから全体にカバーをかぶせていきます。※この際薄手の両面テープでカバーとアームレストを仮止めしておくことを推奨します。図の赤の点線の位置が仮止めの推奨位置です。仮止めしておくこと後の作業でカバーのずれを防止でき、作業が行いやすくなります。



4 アームレストの先端からアームレストと裏側のプラスチック部の隙間にヘラなどを使用して生地を入れ込みます。隙間が大変狭くなっているので作業は慎重に行ってください。



5 アームレスト側面のフチにも生地を入れ込みます。



6 アームレスト後ろ側の角にも生地を入れ込みます。後ろ側はネジを緩めたりできる構造ではないため、隙間が前側よりも狭くなっています。隙間が狭いこともあり図の丸印で囲んでいる生地と生地の縫い目の終わり部分はカバーの厚みが増すため、この部分は生地を入れ込まないようにして下さい。



- 7 アームレストの真後ろ側にも生地を入れ込みます。こちらは生地を入れ込む位置を間違いやすくなっています。アームレストのフタとプラスチック部の隙間をしっかりと確認して生地を入れ込んで下さい。



- 8 アームレストを前側にスライドさせた状態です。アームレストの後ろ側は図のようになります。



- 9 30ページ1番で緩めたネジを元通りに固定します。



- 10 カバーのラインを整えて、1列目アームレストの完成です。

アームレスト（スライド機能無し）



- 11 スライド機能がないアームレストは、アームレスト裏の構造が異なります。フタを開けて図のネジ2本を、ドライバーを使用して外します。



- 12 ネジを外したら、図のようにフタ裏の側面からヘラ等を差し込み、てこの原理の要領でゆっくりヘラを返すとプラスチックパーツの裏側のツメが外れて隙間が出来ます。**軸側のツメは外れませんが**、この要領で隙間を作りながら30ページ2番から7番を参考に生地を入れ込みます。
※プラスチックパーツのツメは破損しやすいので作業は慎重に行ってください。

完成図

※記載しているグレードは、全て2019年12月現在のものです



ダブルハイビーグレード・1列目



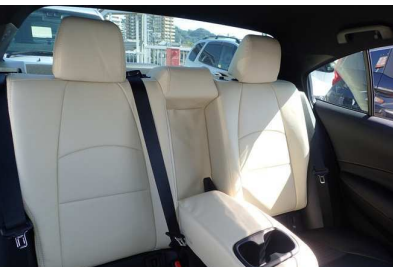
Sグレード・1列目



G-Xグレード・1列目



ツーリング・2列目



セダンタイプ
6：4分割・2列目背もたれ



セダンタイプ
一体型・2列目

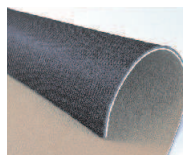


After Service

皆様の快適カーライフのために、安心できるアフターサービス

● 保証・単品パーツ販売・生地の販売

- 1 保証期間であれば、故意でない通常使用における糸切れや生地の破れが生じた場合、無償修理させていただきます。
※一部商品は対象外です。



- 2 シートカバーの補修及び単品パーツの販売をしています。

- 3 シートカバーと同色のソフトBioPVCレザーの販売をしています。
(巾135cm・メートル単位での販売となります)
キルティング仕様の生地は対象外です。



パーツ交換の際、お客様の装着期間や生地の生産時期によって若干の色の違いが見られることがありますので、予めご了承ください。

ご注文・お問合せは

株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

TEL 072-330-8000

…> 生地別メンテナンス方法

クラッツィオシートカバーを永くお使い頂くための、生地別シートカバーのお手入れ方法

ウルトラセード

● ホコリや毛羽などの付着汚れ

エチケットブラシで軽くブラッシングして取り除いてください。

● 全体の汚れが気になる場合

40度程度のぬるま湯にしみこませ固く絞った布で全体を拭いてください。乾いたらエチケットブラシで毛並みを整えるようにブラッシングしてください。

このお手入れは月一回くらいの頻度で行うと効果的です。



本革

普段は柔らかい布でやさしく拭き掃除をしてください。

または、市販されている本革クリーナーをご使用ください。

クリーナーは直接吹き付けるのではなく、やわらかい布などにつけてから(クリーナーの説明書に従ってください)、また使う前に必ず目立たない部分で試し拭きをしてください。

万が一変色したり風合いが変わってしまった場合、元には戻りません。

⚠️ ご注意

本革は非常にデリケートな素材です。熱や水に弱く、シミができたり変色してしまったりします。水やジュースなどをこぼした場合にはすぐに拭き取り、お手入れを行ってください。長時間放置しておくと汚れやシミが取れなくなってしまいます。表面に積もったほこりは汚れの原因になります。掃除機でこまめに吸い取ってください。



PVCLレザー

柔らかい布で乾拭きをしてください。

それでも汚れが取れない場合は水、もしくはぬるま湯で薄めた中性洗剤で拭き取り、水拭きをしてから乾いたウエス(布)で乾拭きしてください。



www.11i.co.jp

「快適カーライフ空間創造企業」



株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号 TEL.072-330-8000 FAX.072-330-8816